

3月24日（土）に開催された「第1回附属校合同APUオープンキャンパスツアー」に立命館宇治高校と立命館守山高校の生徒たち、計34名が参加しました。

ツアーの様子について、引率された立命館守山高校の井上先生に報告してもらいました。



APUオープンキャンパス「第1回附属校合同ツアー」

APUオープンキャンパス附属校合同ツアーは今回が初の企画。宇治から9名、守山から25名、合わせて34名が参加しました。

この合同ツアーは、もともとAPUから附属校生徒に対して参加費補助が支給されていたのに加えて、一貫教育課と附属校からも補助金が出るため、APUを見学したい生徒にとってはこの上もなく負担の少ない企画です。また、引率教員の管理のもとに、ツアーベッド付きのフェリーとバスで行く、安全、快適なツアーでもあります。今後も、年間5回のオープンキャンパスに合わせた同ツアーが予定されています。

私たちのツアー一行は、大阪南港と別府港とを結ぶ大型フェリー「さんふらわあ」に23日夜に乗船し、オープンキャンパスの1日を挟み、25日早朝までの往復2泊を夜行フェリー便で過ごしました。船内はホテル感覚で利用できる施設が充実しており、ジャズライブ演奏が流れる中、レストランやお風呂を楽しむゆとりもありました。

翌24日8時には別府港に到着し下船、附属校専用バスで普段APUの学生が生活する別府・大分市内を車窓から見学、途中、日本一の温泉数を誇る大分県を代表する「地獄めぐり」観光をしました。短い時間でしたが、生徒たちは8つある「地獄」からそれぞれ思い思いの施設を選び入場、美味の温泉卵を食べたり、足湯につかったりと、船旅の疲れを癒しました。

10時半、いよいよAPUにバスが到着すると、早速、黄色のウインドブレーカーに身を包んだ大勢の学生スタッフが「こんにちは」と明るく声をかけてくださいました。その挨拶の声の輪をくぐり抜け、まず、専用控え室で全体説明を受けた後、盛りだくさんの企画にどこに行こうかと相談しながら、生徒たちは広大なキャンパスに散っていきました。

国境を越える学びが毎日広がる「小さな地球村」APU

立命館アジア太平洋大学は、「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、2000年4月1日、大分県と別府市、さらに国内外の広範な人々の協力を得て、別府市十文字原に誕生しました（「立命館アジア太平洋大学開学宣言」より）。

APUは現在、学生の45%にあたる2692名が、世界81カ国・地域から集まった国際学生で占められており、毎日国境を越え世界の縮図を体験できる、まさに「小さな地球村」と呼ぶにふさわしい国際大学です。

ミレニアムホールで行われたオープンキャンパスのオープニングでは、ライブ風のAPU紹介があり、ここに生活する生徒たちの声を聞くこと



ができました。続いて、「ドイツ国際平和村」で紛争や貧困に傷ついた心と体を癒す子どもたちへのサポートを実践している学生ボランティアの活動紹介など、国際色豊かなAPUならではの大学紹介がありました。

昼食場所は高台から別府湾を見下ろすオーシャンビューの「カフェテリア」。食事後は「サマーキャンパス説明会」、「韓国語講座」、「異文化コミュニケーション」模擬授業などに参加しました。中でも生徒たちの関心が高かったのは、国際学生とシェアルームで生活を共にできる「APUハウス」見学を中心としたキャンパスツアーでした。実際にそこで暮らす学生スタッフによる生活に密着した実話入りの説明を聞きながら、施設内の各モデルルームを見学して回りました。

特別企画「附属校OBと国際学生による座談会」

合同ツアー特別企画の座談会には、慶祥や守山からAPUに進学した附属校出身の先輩方と、アメリカ、バングラデッシュ、インドネシア出身の国際学生を含む6名の現役学生をお招きました。小グループで円座を組むと、興味津々の参加生徒たちから、学生生活の裏話を含めて詳細なAPUでの学びについて矢継ぎ早に質問が飛び出しました。

立命館宇治高校スーパーイングリッシュ（S E L）コースからの参加者グループ内では、すべての質問が英語で交流され、時には爆笑が出るほどの盛り上がりとなりました。「大企業への就活で英語は絶対条件」と話す学生も、附属校生徒の英語力の高さには「さすが」と感心。「次も機会があればぜひ呼んでくださいね。」と、メールアドレスを交換しあう姿も見られ、高大生の繋がりが一気に広がりました。



そのほかにも、附属校時代の学習への心構えや、APUに入学してからの日本語基準と英語基準の授業の受け方など、現役学生にしかお聞きできないような突っ込んだ質問に的確に分かりやすく説明していただきました。グループによっては日本人のサムライ精神をどう生かすかといった日本文化論に発展したり、APUでは「待ち」は厳禁であり国際大学のメリットをどう自分の中に吸収するのかが重要だという、学生自身の信条や哲学を語っていただけたりするなど、参加生徒のすべてに大好評の企画となりました。

APU学生の熱い姿が目に焼き付いたお別れシーン

こうして小さな地球村での1日はあつという間に過ぎ、帰りのバスへと向かうころには参加者はすっかりAPUの虜^{とりこ}となった様子で、「もう1週間体験してみたいなあ」、「絶対に入学したい」と口々に感想を語り合うほどになりました。やがて学生スタッフの「ありがとうございました」の連呼に混じる、「またね」、「バイバイ」のような親しみのこもった国際学生との挨拶も尽き、とうとうバスに乗り込む時刻となりました。

いざ、岐路に向け出発……。するとどうでしょう、バスが走り出すやいなや、車窓に見送りの学生スタッフたちの次々と駆け出す光景が映し出されたのです。見ると、バスと競争するかのように、あちこちから息を切らしながらスタッフたちが全力疾走で大学の出口に集結し始めていたではありませんか。その姿に、「あっ、あの人！」、「〇〇で話してくれた人が走ってる！」、「頑張って！」と、車内は騒然。あたかも旧友との別れを名残惜しむかのように、私たちに向かって全身で手を振ってくれている学生スタッフの熱い思いが伝わり、みな時を忘れ、一齊に「さようなら！」の声を弾ませたのでした。

このように濃厚で大成功に終わった合同ツアーでしたが、高大連携はもとより、APUを接点とした附属校生徒の交流の場としても有意義なこの企画が、今後多くの附属校生徒に活用されることを願ってやみません。

Students Voice

今まで友達から聞いていたAPUのイメージが今日のツアーでより広がった。APUは今まで会えなかった人たちに出会える場だと思うから是非行きたい！
(守山2年・女)

APUのことは今まで聞いていただけだったけど、実際に見てみるとことによって聞いていただけでは分からることまで分かった。スタッフの方はとても優しく色々話してくれたので身近に感じた。国際学生が多いので、将来的にグローバルな視野を広げられることがすごいと思った！(守山2年・男)

この大学で過ごしたら有意義な時間が過ごせそうだなと思った。グローバル化の社会にはもってこいの大学だなと思った。参加して本当に良かった
(守山2年・男)



絶対にAPUに行く！有難うございました。
(守山2年・男)

大学生の先輩方がとても親切で、そして何よりもみなさん楽しそうで、是非APUに進学したいと思いました。(宇治2年・女)

在学生の方の話が役に立った。それぞれが違う理由でAPUに入學して勉強している。志の高さに驚きました。参加してよかったです。(宇治2年・男)

今回、参加して本当に良かったと思う。APUの雰囲気や先輩方の話など、リアルなAPUを見て良かった。自分の進路を考えるうえですごく参考になったし、考え方も変わった。(守山2年・女)

APUはいろんな国の人があり、みんなオープンで優しかった。APUに行きたい気持ちが高まった(守山2年・女)

卒業生と話す企画がとても楽しくて、リアルなAPU学生の声が聞けたと思います。APUは訪れる度に行きたい！って思ってしまう大学です！今回も来て、またそう思った！(宇治2年・女)

次回のAPU見学ツアー

アジア太平洋大学APUが実施するオープンキャンパスへ、附属4高等学校から参加するツアーの予定は下記のとおりです。

「世界へつながる道へ」

決断するのはあなたです。



日程

- 5月2日(水) 大阪南港 18:00集合（点呼、乗船手続）／結団式・諸注意
大阪南港 19:05発⇒(フェリー：ツーリストベッド)
5月3日(木・祝) 大分別府港 6:35着⇒(送迎バス)⇒10:30着APU（オープンキャンパス参加）
APU 17:30発⇒(送迎バス)⇒大分別府港 18:45発⇒(フェリー：ツーリストベッド)⇒
5月4日(金・祝) 大阪南港 6:35着(解散)



費用 3,000円（食費など個人的な費用を除く）

立命館慶祥の生徒は、大阪南港までの交通費として2万円を補助

引率 学校法人立命館の担当教員・職員

集合 5月2日(水) 18時

大阪南港コスモフェリーターミナル(ATCのりば)

地下鉄四ツ橋線由之江公園駅または中央線コスモスクエア駅からニュートラム「トレードセンター駅」下車(徒歩約5分)

解散 5月4日(金・祝) 7時ごろ

大阪南港コスモフェリーターミナル(ATCのりば)

WILLER TRAVELがシャトルバスを運行(大阪南港⇒梅田 500円/京都 1,000円:3月31日までweb割引)
(土)～(月) コスモフェリーターミナル 8:15発⇒大阪梅田 8:45着⇒京都駅 10:10着

申込 申込書に必要事項を記入の上、日本旅行 大分支店 APU オープンキャンパス担当行
(FAX: 097-536-4882)まで申込書をFAXしてください。4月20日(金)締め切り

備考 ※ このツアーは、日本旅行大分支店 (TEL : 097-532-6166) の手配で実施します。申込後に日本旅行より詳細の案内が届きます(参加費用の支払い手続きについては日本旅行からの案内を確認してください)。

※ フェリーの予約状況により、お申込いただいたても参加できない場合があります(今回は申込先着8名を優先させていただきます)。予めご了解ください。

APUオープンキャンパス担当行き FAX : 097-536-4882

第1回 APUオープンキャンパス 5月3日(木・祝) 開催分
専用バス・フェリーチケット 申し込みフォーム

フェリー	大阪(大阪南港)/ツーリストベット	前日 19:05	翌日 6:35	3,000円
------	-------------------	----------	---------	--------

【ご注意】

※APU到着は11:00、出発は17:30を予定しています。詳細は後日、日本旅行よりご連絡させていただきます。

※フェリーチケットは、料金振込後にキャンセル・変更をされる場合、払い戻しができませんのでご注意下さい。

※フェリーチケットは、席に限りがございますので予めご了承ください。

※出発3日前までに何も連絡がない場合は、一貫教育課へお問い合わせください。

◆太枠の中をご記入下さい。

フリガナ	年齢	性別	男・女					
氏名								
所属高校	高等学校	科	コース	1年	2年	3年	既卒	
連絡先	〒	□□□	-	□□□□	TEL	(市外局番)	-	
	FAX	()	(市外局番)	-			
	都道府県							
E-mail	()						

◆保護者同意書

フリガナ							
氏名							
あなたとの関係							
連絡先	〒	□□□	-	□□□□	TEL	(市外局番)	-
	FAX	()	(市外局番)	-		
	都道府県						

申し込み締め切り 4月20日(金)

日本旅行 大分支店

問い合わせ : 日本旅行大分支店

097-532-6166

【個人情報保護について】

ご記入いただいた住所、氏名、その他の個人情報は、立命館アジア太平洋大学の大学案内・学部ガイドブック・各種入学試験要項等の発送、オープンキャンパスなどAPUの最新情報をお知らせするメールマガジンの配信や、統計的集計を行うために利用いたします。これらについては、当該業務の委託を受けた業者(以下、「委託業者」といいます)において行います。申込みをされた方の個人情報は立命館アジア太平洋大学が明示する用途のみに使用し、委託業者はその委託業務を超えた利用はありません。予めご了承ください。